

調布駅前広場における

環境空間としての広場機能の方向性

参考資料

追加資料 1-2

1. 大屋根

大屋根は設置しない。

大屋根に求められる機能

【オープンハウスなどでの主な意見】

No	項目	回答数	割合
1	暑い日や雨天に待ち合わせや歩行ができる空間	913	41%
2	開放感があり見通しがいい空間	383	17%
3	災害時の帰宅困難者の避難スペースとして活用できる空間	444	20%
4	暑い日や雨天に広いスペースでイベントができる空間	409	18%
5	必要ない	48	2%
6	その他	50	2%
回答総数		2,247	100%

- ・大屋根は雨除けとしてあれば便利
- ・駅からバス・タクシーまで雨に濡れずに移動できる空間
- ・景観の邪魔にならなければよい

出典：令和元年度 調布駅前広場検討調査業務委託報告書



雨天時に傘を差さずに移動できる動線

災害時、帰宅困難者になった際に滞留できるスペース

想定されるコスト

整備費 **約5.0億円**

+ さらに毎年維持費がかかる

大屋根が与える景観への影響



▲大屋根：あり



▲大屋根：なし

【大屋根がある場合のメリット】

- ・広い広場空間に日陰ができる
- ・広場口から出た際に、雨にぬれずにバスロータリーへとアクセスができる

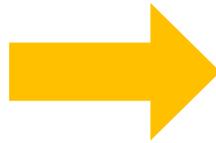
【大屋根がある場合のデメリット】

- ・圧迫感を感じる
- ・ガラス製等のものを使う場合は、定期的コストをかけて清掃しないと汚れが目立ち、かえって景観を損ねてしまう
- ・京王線地下化によって得られた青空の景観が損なわれてしまう
- ・中央口から出た際に周囲の商業施設の視認性が損なわれてしまうため、周辺店舗との慎重な調整が必要
- ・利用者数の多い中央口の場合、北側のロータリーの上屋を通過して大屋根に入らなければ雨天時に傘を差す必要性が出てしまう

大屋根が撤去された事例（熊本駅） 出典：熊本市HP



⇒鉄筋コンクリート製のしゃもじのような形をした大屋根。
先の熊本地震の際には**一時滞留機能**として期待
しかし…
大屋根自体も倒壊してしまうのではという不安が多くあり、
実際に屋根の下をよける人もいた。



⇒現在は大屋根は撤去。
アルミニウム製の軽量な上屋をバスロータリーや主要動線
に設置。
雨の日でも安心して移動できるように、雨よけ等の上屋を
各乗降場や歩行動線上に整備予定。

方向性

・バリアフリーの観点から、駅出口と南北ロータリーをつなぐ上屋を設置する。

案① 広場口そば

【メリット】

- ・広場口を出てからバス乗り場にアクセスしやすい
- ・中央口前の空間を市の顔となるような設え（樹木など）を配置できる
- ・南側から北側バス乗り場への乗り換えがしやすい

【デメリット】

- ・駅出口から障害者乗降場へのアクセスがよくない
- ・広場空間が上屋によって分断されてしまう



案② 中央口そば

【メリット】

- ・広場空間を広く取れる
- ・駅出入口から障害者乗降場合む各方面へのアクセスが容易
- ・比較的用户が多い中央口から屋根をかけられる

【デメリット】

- ・中央口前の空間の樹木配置などの設えが上屋によって制限されてしまう
- ・設置に係る京王（トリエ）側との調整が必要



2. 噴水

常設の噴水は設置しない。

年々進む酷暑

出典：厚生労働省『熱中症による死亡者数（人口動態統計）』

年度	H12	H17	H22	H27	H30
死亡者数	207	328	1,731	970	1,581

平成22年を境に近年に向けて熱中症での死亡者数が増加傾向

⇒自治体による熱中症対策の必要性が高まる

噴水に求められる機能

【オープンハウスなどでの主な意見】

No	項目	回答数	割合
1	子どもが水と戯れられる空間	413	20%
2	調布駅前の原風景として継承された空間	374	19%
3	イベント時にも臨機応変に噴水を活用できる空間	307	15%
4	打ち水効果として、暑い日に涼むことができる空間	642	32%
5	必要ない	195	10%
6	その他	77	4%
回答総数		2,008	100%

- ・暑さ対策の噴水は欲しい。
- ・子供が水遊びができるような噴水があると良い。
- ・噴水は欲しいがしっかりメンテできるのか？

出典：令和元年度 調布駅前広場検討調査業務委託報告書

暑さ対策、子供の水遊び

しっかりとした水質管理

噴水をやめた自治体の例

●鶴ヶ峰まちかど広場（神奈川県横浜市）



- 節電対策として噴水稼働停止。
- 住民から憩いの場が欲しいと意見が寄せられ噴水撤去し、広場が再整備された。

出典：タウンニュース 平成24年4月12日

●柳川あめんぼセンター（福岡県柳川市）

- 配管が詰まり循環システムが機能しなくなったため噴水停止。
- 約2000万円の修理費がかかることから長年放置。

●反町公園（神奈川県横浜市）

- 健康被害を防ぐための水質維持及び衛生管理が難しく、費用対効果を踏まえ2014年撤去改修。

●四季の森公園（中野区）



- 例年ゴールデンウィークから9月までは水遊びを想定し池流れを開放しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度は開放を取りやめている。

暑さ対策 × 子供 × 水

⇒ドライミストの設置や仮設による水辺空間の創出等を検討する。

暑さ
対策



コスト
削減

例1：ミスト

●子供用ミストの事例

出典：まちなかの暑さ対策ガイドライン

○子供に対しては粒径の大きいものを採用することで水と戯れる空間を作ることができる。



(事例) 下師岡公園 出典：東京都瑞穂町HP



●風に流されにくいミストの事例

新橋駅前SL広場

○パナソニック株式会社が開発する「Green AC」を採用。ミストの噴射がスパイラル状になることによってミストのカーテンを作り、風に流されにくくなっている。



●クールスポットの事例

出典：株式会社いけうち

東京音楽大学

○一般的なものは上からミストを噴霧するが、これはベンチの後ろからミストを噴霧している事例。肌にミストが直接当たりやすい。



●動線上に設置している事例

飯野ビル（民間設置）

- 5～10月の月～金で稼働。
- 29℃以上、湿度70%以下、風速5m/s以下が稼働条件。
- 特殊なノズルを使用しており、水の粒が大きく、視覚からの清涼感も十分。
- 使う水の量は1日フル稼働で1t/日



北千住駅南口美観商店街（民間設置）

出典：足立区HP

- 令和元年9月施工
- 前長400mの両歩道にミストを設置。
- 設置は商店街が主導、施工費の大部分を都の補助金と地元のイトーヨーカドーの出資にて賄った。



六本木ヒルズ（民間設置）

- 来街者の快適性向上および省エネ推進を目的に、平成18年夏から設置。
- 2017年には東京都が行う「クールスポット創出支援事業」にも認定され、噴霧エリアを4倍に拡大する工事を実施。工事に係る費用の一部を都が補助。



東京ミッドタウン（民間設置）

- 下からミストがでる珍しいタイプ、直接肌でミストを感じやすい。
- しかし、地面が濡れやすいので、滑らないよう舗装等を検討する必要あり



例2：仮設の水場

●森のナイトカフェ（千葉県流山市）

- 地元の事業者からなる実行委員会が主催，市は共催という形。
- グルメのほか噴水ショーやフェスなど多様なイベントを開催している。また，子供の水遊びブースも設置。

①仮設式噴水

- ・レンタル費用は約500万円，施工費や管理費込みの価格。
- ・出した水の行方は，水道水をそのまま流す「かけ流し」タイプと，プールを設置して循環して使う「循環」タイプがある。
- ・この事例では4日間のレンタルだが，商業施設にもレンタルしており，2～3か月の運用も可能。
- ・市は噴水のレンタルに係る費用の一部を負担している。



出典：森のナイトカフェ 公式Facebook

②子供用水遊びブース

- ・年ごとの設えによって変わるが，レンタル料は数百万円程度（施工費込み）
- ・かけ流しで水道水をそのまま流すため，水質は問題なく，子供でも安心して遊べる（プールの水と同程度の水質とのこと）



出典：流山市HP

●丸の内仲通り（民間設置）

出典：株式会社Do SCIENCE

- 丸の内仲通りに約130本の仮設のミストノズルを設置，樹木にミストのノズルを渡らせるように配置。
- 2018年7月20日(金)から8月31日(金)までレンタル。
- 三菱地所株式会社，大丸有まちづくり協議会などが実行委員会を設置。



●東京タワー正面玄関

- 夏休みの子供向け水遊びゾーン「東京タワーちびっこ水遊び広場」を設置。
- 縦6m×横8mのパレットの下から5分間隔で約10分間、ランダムに水が吹き上がり，時間や場所により吹き上がる水の高さが変わる。

例3：打ち水

●打ち水イベント

出典：中野区HP

- 東京都中野区の打ち水イベント
- 2019年は3か所の場所で2日実施



●打ち水システム

- 2018年から東京駅で設置
- 夏季の9：00～17：00稼働
- 地面に5mm程の水の膜を張り，夏場の路面温度の上昇を抑えると共に，安らぎと清涼感のある広場とすることを目的。
- 環境に配慮し，水道水をろ過しながら繰り返し使用。

3. 公共施設棟

4. 観光案内機能

公共施設棟は設置しない

公共施設棟の考え方

- 平成25年7月の検討図では、公共施設棟に交番、トイレ、観光案内所、防災倉庫の機能が入ることを想定していた。
- 公共施設棟に設置予定だった交番は調布駅中央口付近、防災倉庫は鉄道敷地に既に設置。**
- トイレについては、以下の理由から現仮設位置付近とする。
 - ①複合施設でなくトイレ単独の設置となる場合、イベント空間とのバランスを考慮する必要があること
 - ②周辺土地利用への配慮が必要であること
- 以上から公共施設棟に入る機能は観光案内所のみとなることから**公共施設棟自体の設置を見直す必要が出てきた。**
- 当面は、現在の観光案内所（めくもりステーション）を活用する。
- 駅前広場内（地上）に単独での建築物の設置は行わない中で、観光案内機能を確保することを検討する。



観光案内機能の確保を検討

JR京都駅

毎年紅葉シーズンで繁忙期となる観光案内所の顧客分散が目的。紅葉スポットなどの観光案内をはじめ、交通案内やチケット販売のほか英・中の二か国語に対応している。

出典：京都市HP



ハルネ小田原（街かど案内所）

スタッフ自らが地域の情報や見どころ、街中での過ごし方などをコンシェルジュのように案内。地元の人間ならではの情報や魅力を伝えている。



5. 市政情報発信機能等

提供が望まれる情報

- ・観光情報
 - ・バス乗り場, 系統案内, 時刻表, バスロケ
 - ・公共交通機関の運行情報
 - ・気象・災害情報
 - ・主な市政情報
 - ・駅前広場イベントスケジュール
 - ・公共サイン
- 等

市民からの意見

- ・デジタルサイネージを利用し多目的に使えると良い
- ・バス停の行き先が分かりやすい案内図が欲しい
- ・多言語対応が必要
- ・情報発信の手段としてデジタルサイネージが必要等

出典：令和元年度 調布駅前広場検討調査業務委託報告書

観光地 × 情報化社会 × スマートフォンの普及

方向性

デジタルサイネージなどの活用で
市政情報にとどまらない幅広い情報を提供する。

バス案内システムの事例

● 神奈川中央交通（バス事業者設置）

- ダイヤが一覧形式になっており、一目で乗りたいバスの時間と乗り場が分かる。
- ロータリーや市役所内にも設置しており、市民の乗り継ぎ等の起点に



▲平塚駅のタッチパネル併設の例
(出典：神奈川中央交通公式Facebook)

●多目的デジタルサイネージ

●Discover & TOKYO（東京都） 出典：公益財団法人 東京観光財団

【主な機能】

- ・タッチパネルによる案内機能
⇒観光、飲食店、公共交通、ロッカー等幅広く情報を提供
- ・無料Wi-Fiの提供
- ・災害時の情報提供機能
- ・ディスプレイを活かした観光者への動画によるウェルカムメッセージ

デバイス上の二次元コードを読み取ることで、スマートフォン上でも閲覧が可能。端末を離れても情報がわかる仕様



●Cisco Network Experience Vehicle

【主な機能】

- ・最新鋭のインターネットやICTコミュニケーションなどを提供する車輻として全国を回る車両
- ・過去の活動として、最新Wi-Fi設備の体験、アイドルのライブ中継、ゲームイベントの中継など
- ・デジタルサイネージとして活用できるかは今後検討の余地あり



出典：シスコ・システムズ合同会社

●あつナビ（厚木市）

出典：株式会社クラウドポイントHP

【主な機能】

- ・市のサービスや催しといった行政情報や台風の接近や避難所情報などの防災ニュースなどを中心に情報を発信
- ・55インチ型のモニター
- ・基本放映時間は6時から24時まで
- ・総台数8台を誇り、見た目のインパクトは抜群
- ・その台数を活かし、自主財源の確保を目的に広告媒体として広告枠を提供する事業を実施

5分間隔で15秒の広告を6枠（1枠から提供可。最大連続6枠まで）



●熊谷駅前

出典：熊谷市HP

【主な機能】

- ・市内の観光・イベント情報・災害時の避難情報をタイムリーにお知らせ。
- ・タッチパネル採用
- ・日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）、ハンガルの4言語を切り替えて表示でき、車いす利用者や身長の子どものでも操作できるようタッチ範囲を画面の下部に配置するなど、ユニバーサルデザインに配慮。

提供される情報

- ・地図
- ・見どころ／公共施設
- ・バス乗り場案内
- ・バス停名検索
- ・周辺施設案内
- ・主な観光地情報



6. トイレ

現在の仮設トイレ付近に設置する。

背景

●市民の意見

〈オープンハウスなどでの主な意見〉

- ・トイレが欲しい（本設）
- ・トイレが今も不便であり、タクシー、バス（を利用するときに）困っている。
- ・トイレをきれいに維持してほしい

出典：令和元年度 調布駅前広場検討調査業務委託報告書



イベント時のトイレの必要性
避難所や一時収容所のトイレ不足の受け皿

【公衆トイレ設置経緯】

H28.9 調布駅南トイレの閉鎖

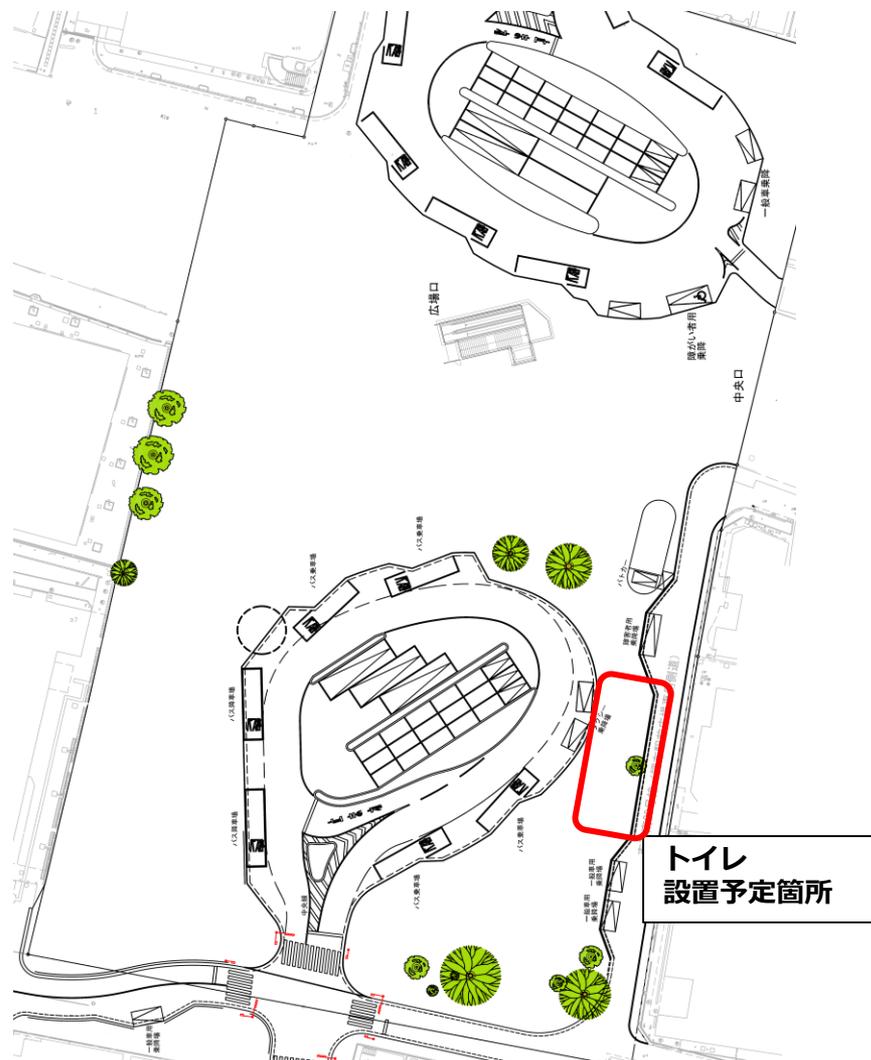


H30.3 トイレの必要性を再確認



R1.9 仮設トイレ設置

市民の声など



① トイレ 事例

● 武蔵小金井駅南口公衆トイレ

- ・南口バスロータリーに沿う形で設置，道路付属物として管理
- ・歩行者から中が見えないような形になっている
- ・24時間利用可能
- ・管理と清掃は市内の福祉団体に委託，朝・昼・夕の三回清掃



▲トイレ入口



▲トイレ図面

● 海老名駅西口公衆トイレ

- ・街並みづくりの中でシンボル性を持った「新しいまちのみんなが使えるトイレ」として完成
- ・ガラスを多く取り入れ外観が明るい
- ・外から中が見えないよう入り組んだ作りになっている
- ・利用時間は午前5時から午後11時まで



● 多治見市駅北トイレ

- ・地場産材である「美濃焼タイル」を内外装に使用
- ・オストメイト対応・ベビーチェア等を備えた多機能トイレを設置
- ・24時間利用可能。利用者の安全面に配慮し，防犯カメラ，盗撮電波検知センサーなどを設置

● 官民連携での公衆トイレの拡充（豊島区）

【経緯】

- ・2020年オリンピック・パラリンピックに向け、従来の「公衆便所」のイメージを刷新。おもてなし・女性目線でのトイレ整備を目指す。

【活動内容】

① コンビニとの連携

セブンイレブンのみ協定を結んでいる。

- 協力事項：区民から要望があったら貸出
- きれいに管理する
- TPTPのステッカーを貼る
- 地図への掲載



▲TPTPステッカー

他のコンビニはTPTPのステッカーを貼る，地図掲載への協力。

② 花王との協定

- 豊島区と花王の「“豊島区のきれい”パートナーシップ協定」に基づき，日本最大規模の女性用パブリックトイレを区民センターに設置。パウダー・フィッシングルームのほか授乳室やおむつ替えスペース等を完備する。

- 花王は清掃の「提案・指導・研修」を行い清掃の質の向上を図るとともに，キレイ維持の仕組みをコーディネートする。

また便座クリーナーディスペンサーの無償提供や，ベビー用品やスキンケアの試供品を提供している。

出典：豊島区HP としまSCOPE (HP)



● 官民連携での公衆トイレの拡充（渋谷区）

- 本財団・渋谷区・観光協会の3団体で“THE TOKYO TOILET”を設立。公共トイレを、誰もが快適に使えるよう整備を進める。



▲東3丁目公衆トイレ



▲恵比寿東公園トイレ

7. マンホールトイレ・貯水槽

調布駅前広場周辺に防災機能として、マンホールトイレを設置

背景

●東日本大震災（平成23年3月11日 発生）

約66%の自治体が仮設トイレを行き渡らせるまでに4日以上を要した。

<時間を要した理由>

- ・平常時に建設現場等で使用されている**大量の仮設トイレを早期に集めることが困難であった。**
- ・災害時に**家屋の倒壊によりトラックによる輸送が困難であった。**

<災害用トイレに対する要望>（日本トイレ研究所調べ）

- ・「**高齢者、障害者の使用が容易**」「**設置が容易**」であることが最も多く挙げられた。
- ・「**女性、子どもの使用が容易**」という要望も多かった。

●熊本地震

- ・マンホールトイレを発災前までに4校（計20基）の整備完了。
- ・4月16日深夜1時の本震後、当日の午前中に4校すべて設置完了。



出典：「熊本地震におけるマンホールトイレの活用 ～避難所の生活環境向上に向けた取組～」
熊本市上下水道局
「熊本地震でのマンホールトイレの活用状況について」NPO法人日本トイレ研究所

●調布市の現状

- ・調布市地域防災計画では、グリーンホールは震災時は**一時収容可能施設**、風水害では**避難所**として位置付けている。
- ・駅前広場の機能として「**防災機能**」を位置づけている。

マンホールトイレ事例

●北九州市 出典：北九州市HP

【経緯】

- ・地域イベント（北九州マラソン）で臨時トイレとして使用。
- ・市民に「災害用マンホールトイレ」について知ってもらい、地域防災力の強化につなげる目的により使用。

【現状】

- ・公園1か所につき5基（内1つは車いす用トイレ）設置を目安とし、市内広域避難地（公園）に6か所設置済。
- ・北九州市内7区全てに最低1か所の設置を目標に整備を行っており、計画では24か所設置予定。
- ・組立が容易であること、夜間に照明をつけてもトイレ内が映らないことからパネル式を採用。



▲仕組みの説明



▲利用状況



▲マンホールトイレ設置状況（内観）

●安来市 出典：積水樹脂

- ・地域防災計画で想定した地震被害に備え、可能な限りの被害軽減を目的に防災力の強化を図る。
- ・下水道直結式。トイレの囲いは平常時は駐輪場として、災害時には背面のパネルを展開して個室トイレにできる。



▲平常時



▲マンホールトイレ展開後